

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公開番号】特開 2009-31774 (P2009-31774A)

【公開日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2009-006

【出願番号】特願 2008-163301 (P2008-163301)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1339 (2006.01)

G 0 2 F 1/1337 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/1339 5 0 5

G 0 2 F 1/1337

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 5 日 (2011.5.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板と、

前記第 1 の基板と対向する第 2 の基板と、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板の間に液晶と、

前記第 1 の基板上の第 1 の配向膜が形成された第 1 の配向領域と、

前記第 1 の基板上の前記第 1 の配向領域を囲み、かつ第 2 の配向膜が形成された第 2 の配向領域と、

前記第 1 の基板上の前記第 1 の配向領域及び前記第 2 の配向領域を囲むシール材と、を有し、

前記第 1 の配向領域を表示部として用いる液晶表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記第 2 の配向膜は、垂直配向膜であることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、

前記第 1 の配向膜と前記第 2 の配向膜は、前記第 2 の配向膜を上にして、一部重なっていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 4】

第 1 の基板に第 1 の配向膜を形成し、

前記第 1 の配向膜の外周に第 2 の配向膜を形成し、

前記第 2 の配向膜の外周にシール材を形成し、

前記第 1 の配向膜上に液晶を滴下し、

前記第 1 の基板と第 2 の基板を貼り合わせ、

前記液晶と前記シール材が接する前に前記シール材を硬化し、

前記第 1 の配向膜が形成された領域を表示部として用いることを特徴とする液晶表示装

置の作製方法。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記第 1 の配向膜は、前記第 2 の配向膜を形成する前にラビング処理を行い、

前記第 2 の配向膜は、垂直配向膜であり、ラビング処理を行わないことを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 において、

前記第 2 の基板に前記第 1 の配向膜と対向する第 3 の配向膜と、前記第 2 の配向膜と対向する第 4 の配向膜が形成されており、

前記第 1 の配向膜と前記第 3 の配向膜は同じ材料を用いて、同じ形成方法で形成され、

前記第 2 の配向膜と前記第 4 の配向膜は同じ材料を用いて、同じ形成方法で形成されていることを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項 7】

請求項 4 乃至 6 のいずれか一項において、

前記シール材の硬化は、紫外線照射による光硬化であることを特徴とする液晶表示装置の作製方法。

【請求項 8】

請求項 4 乃至 7 のいずれか一項において、

前記第 1 の配向膜と前記第 2 の配向膜は一部重なっていることを特徴とする液晶表示装置の作製方法。